



橋本さんと月子ちゃん

## PLN会員の感動の声

# 月子ちゃんのおかげで 規則正しい生活を

橋本都子さん(77歳)

大阪に住む橋本さんは、一人暮らし。10年ほど前から猫の月子ちゃんとも暮らしている。もともとピアノの先生

で、今も週に1度ほど生徒さんが通ってくる。おじいちゃんバンドの「ビギナーズ」にも所属しており、ボランティアでピ

アノ演奏もする。昨年一人きりの姉を亡くした。甥姪はいるが関係なく。「こちらに来ないか」と声をかけてくれ

るといだが、慣れ親しんだ大阪での暮らしを選んでいる。月子ちゃんはもともと保護猫で、さまざまな事情から家を転々とし、4軒目の橋本さん宅でようやく生涯の飼い主に出会えた。橋本さんは猫好きだったが、月子ちゃんに出会うまでは地域猫にえさをやる程度で、室内で猫を飼うのは初め

てだという。PLNの会員となったのは月子ちゃんの腎臓病がきっかけだった。繰り返す腎臓病に猫に関する知識が乏しいことに気づき「何かあった時に相談できるところはないだろうか」とネットで探してPLNにたどり着いた。PLNでは、セミナーに参加したり、ライブでピアノ演奏したりと、さまざまな活動を行っている。「月子がいなかったらもつとダラダラ暮らしていたでしょうね。ご飯あげたり猫砂かえたりしなければならぬので、規則正しく生活するようになりますね。責任があるので生活にハリも出ます」と橋本さん。

万一に備えて身元保証グループには入っている。「わんにゃお信託®」も検討中だ。



また自治体から配布されている「あんしんキット」の中にも緊急情報用紙に猫情報を記入していただきます。一人暮らしの高齢者で「あんしんキット」が配布されているのであれば、記入しておくことを強くおすすめします。倒れるようなことがあっても、救急隊が「あんしん

キット」を確認していただけますから。もちろんエンディングノートにも猫たちの処遇について書いてあります。PLNでは、「ペットを愛する方のためのエンディングノート『ペットの終活×人の終活』」を制作・発行しています。ペットと人の終活を1冊に書き込むことができるので便

利ですよ。猫と暮らすメリットを教えてください。猫たちがいなくなったからルーズに暮らしていたでしょうね。一人暮らしだといくらでもだらしないくなるんですよ。でも猫は、うんちはするし、砂も散らかす。ごはんもあげないといけない。掃除するようになるし、生活が規則正しくなりますね。猫たちがいなくなったらアル中になつてたかもわからへん(笑)。

高齢者の一人暮らしって、こちらから社会にアプローチしないかぎり人はよってこないんです。アプローチしないと社会と断絶してしまうんですよ。その点猫がいるとそう易々と死ねないという責任感やハリも出るし、もし私に何かあつて

も猫たちには幸せに暮らしてほしいと思う。「わんにゃお信託®」は猫たちに背中を押されてできたようなものです。高齢者がペットを飼うことについてどうお考えですか。高齢者はお金はないかもしれませんが、時間は潤沢にあります。だからペットとたっぷり一緒にいることができるんです。ペットと高齢者は本来なじみのよい関係なんです。高齢者の遺棄や放棄が問題になっていますが、一方で、自分やペットの寿命を考えて飼うことを躊躇する人もいます。そうした人には保護犬や保護猫を飼える選択肢が増えれば良いと思っています。保護犬や保護猫は高齢

者への譲渡制限をしている自治体が多いのですが、保護動物の譲渡が進まないため、年齢制限を外す自治体も始めています。子犬や子猫から飼うと、しつけも必要ですし、長生きもする。保護動物はペットを飼いたい高齢者と親和性が高いと思うのですが、小さくてかわいい子犬や子猫を買いたがる高齢者もいて、なかなかうまくいかないものです。

猫がいなかったら、毎日寝てるだけだったかも。うちとこの子が元気でいる間は頑張りますよ!

●NPO法人  
ペットライフネット(PLN)  
世代組・シニア・若手  
ペットを愛する方のためのエンディングノート  
ペットを愛する方のためのエンディングノート  
ペットを愛する方のためのエンディングノート  
ペットを愛する方のためのエンディングノート